

FD推進委員会が推奨する授業公開科目一覧

	科目名	授業形態	開講クラス	担当者名	曜時	参観が望ましい日程	受講者	教室	科目目的	到達目標	授業方法	特記事項
1 日 文	中古文学購読	演習	大日2ABC	徳原茂実	火1	特になし	80名	L2-23	中古文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識及び技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容及び教材に関連づけて主体的に探究する。	講義形式 質問は授業中のみならず、随時受け付けるので、オフィスアワーやメールを活用されたい。	
2 英 文	コンピュータによるリーディング	演習	短英新2B	郷路 行生	火1	特になし	13名	C-602	基礎リーディングおよびフォートライトでのコンプリヘンシヴ・リーディングで修得した基礎的な力を発展させる。ここでは特に速読に重点をおく。その力を養うために、与えられた教材を所定の時間内に読み切る練習をする。そのうえで、さらにリーディング能力を高め、理解度を深める。	各自の解答をプロジェクターで投影し、学生同士でチェックすることによって、問題を共有し、自分で問題を発見し、それを解決する能力を身につける。	反転授業。受講者は授業までに各自でμ Camにアクセスし、課題を提出しておき、授業では学生の課題をプロジェクターで投影し、全員で問題点などを共有する。	
3 英 文	ライティングIA	演習	大英1S	I. カプリ	火1	特になし	16名	C-703	Students focus on the skills for writing a well-organized paragraphs and essay, with attention to the understanding of paragraph structure and some rhetorical patterns. This is one of the subjects for teaching credentials, and its goals include acquiring skills and knowledge for teaching English at school. 本科目は、中高教科英語を教授するに足る基礎的知識及び技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	This course, in concert with Writing IB, is meant to build students’ linguistic, socio-cultural and academic knowledge base in the interest of equipping them to participate in university-level academic writing both within and beyond Japan. The class also offers foundational preparation for students studying at MFWI (Mukogawa Fort Wright Institute). なお、教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容及び教材に関連づけて主体的に探求する。	The instructor will cultivate a classroom environment that encourages students to engage and interact with each other and the teacher. The instructor will provide course materials that connect with students’ learning needs and personal and professional goals for tertiary study. The course will equip students both to actively pursue linguistic and socio-cultural knowledge pertinent to their lives and future pursuits, and to contribute to enriching the learning experience of their classmates.	
4 英 文	エッセイ・ライティングA	演習	短英新2B	I. カプリ	金2	特になし	28名	C-806	The objectives of this class are to develop grammar skills and vocabulary in writing, an awareness of the writing process, essay organization, and ability to write using specific rhetorical styles. Additionally, fluency through informal, communicative writing is developed.	The goals of this class are to improve English fluency, organization, and logical development in writing.	Students will work both individually and in pairs. Peer editing will be carried out as part of the writing process.	
5 英 文	英語の談話分析A	演習	大英4ABCDES	三宅弘晃	土2	特になし	23名	L1-803	言語使用者(筆者や話者)は、自らが伝えようとするメッセージを適切な言語形式に変換して相手に効率よく伝達するため、実にさまざまな言語的装置を駆使して首尾一貫したテキストを構築している。ある程度の長さをもった実際のテキストを分析することで、その構築のプロセスに対する理解を深化させることを目指す。	以下の3つの点を満たすことを目標とする。 (1)「談話」という概念を正しく理解できる (2) 目的が自明であるテキストを分析し、談話的な技巧や工夫・配慮などを指摘できる (3) 談話的な技巧や工夫・配慮を自らの談話に応用することができる	インタラクティブ、問題解決型	

FD推進委員会が推奨する授業公開科目一覧

	科目名	授業形態	開講クラス	担当者名	曜時	参観が望ましい日程	受講者	教室	科目目的	到達目標	授業方法	特記事項
6 教育	算数科指導法	講義	大教3ABC	神原一之	水2 木2 金2	6月29日～ 7月14日	113名	SE-302	小学校算数科教育の理論の理解と体験的活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1)小学校算数科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2)小学校算数科の授業を計画・実施することができる。 (3)小学校算数科の授業を構想し、批判的に検討することができる。	・講義 ・授業研究(映像や示範授業を通して) ・演習(学習指導案の作成、模擬授業)	
7 心福	学習心理学	講義	大心3AB	三浦 彩美	木1	特になし	112名	L2-31	学習心理学における主要なテーマである条件づけと記憶の理論について理解することを目的とする。	学習や記憶に関するさまざまな理論や仕組みを知り、それらを日常場面と結びつけて理解できる。	講義形式で進める。	
8 健康	スポーツ心理学	講義	短健1AB	松本裕史	水3	6月15日	91名	S-23	体育・スポーツおよび健康づくり運動の指導および実践に関する心理学の専門知識を理解し、習得することを目的とする。本科目は、中学校教科保健体育を教授するに足る基礎的知識及び技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	スポーツ心理学の基礎を学び、良好なスポーツ活動を推進するための心理学的アプローチに関する知識を習得する。また、現場で起こりうる様々な心理学的問題の背景を理解し、その解決策について考え実践できる能力の獲得を目標とする。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中学校教科内容及び教材に関連づけて主体的に探求する。	講義形式で実施する。	
9 環境	基礎造形実習	実験 実習等	大環1A	黒田 智子	金1・2	特になし	46名	H3-206 又は H3-B10	幾何学の基本法則を効果的に用いること。幾何学図形の特徴と構成についての基本法則を身につける。	イメージやアイデアを形態または立体によって表する方法を学ぶ。	ものの特徴を取り出してそれを抽象化し、手の中に納まるくらいの立体を作成する。	
10 環境	生活デザイン実習 I	実験 実習等	大環2A後半	森本 真 津田井 美香	金4・5	特になし	23名	H1-33 又は MM-603	個人と、身体の一部としての物の関係をデザインすることで、より豊かな生活を提案する能力を養う。商品企画デザインの考え方や見方を理解する。	パッケージデザインは今や商品のメッセージそのものといえるほどに重要な役割をはたしている。また、商品を包む・運ぶという物理的な機能も担っている。パッケージデザインについての調査・企画・提案をとおして、その魅力とコミュニケーションデザインとしての重要性を理解するとともに、アイデアを形にする技術力、人に伝える表現力を修得する。	実習型授業	
11 食物	栄養教育論I	講義	大食2B	前田佳予子	火1	6月中	46名	E-201	健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。更に、対象に応じた栄養教育のプログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメント出来るよう健康やQOLの向上につながる健康・栄養教育の理論と方法を修得する。	的確な栄養アセスメントに基づく栄養教育の企画、実施、評価の総合的なマネジメントを行う能力を高めることを到達目標とする。	教科書に沿って授業を展開し、必要に応じて資料などを配布する。講義中に小テストを実施する予定である。	

FD推進委員会が推奨する授業公開科目一覧

12 情報

科目名	授業形態	開講クラス	担当者名	曜時	参観が望ましい日程	受講者	教室	科目目的	到達目標	授業方法	特記事項
コンピュータ基礎Ⅰ	演習	大情1ABCD	中村勝則	金1・2・3・4	随時(ただし午後からの方が望ましいです)	188名	MM-812	実社会での活動において、IT(情報技術)に関する基礎知識は必須と言われており、ITを軸にした形で社会の営みを理解することが重要である。本講義では、ITに関する基礎的知識を身に付け、組織運営や商取引にITがいかに活用されているかを正しく理解する事を目的とする。なお本科目は、高校教科家庭科を教授するに足る基礎的知識及び技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	情報メディア学科で開講する各種の専門科目(情報技術系、経営学系)を実践的に理解するための基礎知識を獲得する。また、IPAが主催する国家資格「ITパスポート試験」に合格することを目指す。なお、教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容及び教材に関連づけて主体的に探求する。	講義による。科目の内容を解説するだけでなく、問題演習を実施し、実践的な知識を身につける。μ Camを始めとするe-Learning教材やコミュニケーションシートを用いて、可能な限り授業の双方向性(教員-学生間)を実現する。	4コマ連続開催で、講師は少々疲労ぎみです。
建築設計演習Ⅲ	演習	大築3年	杉浦徳利 猪股圭佑	火3・4 水3・4 金3・4	6月21、22日 7月29、30日	45名	AS-113	家族や集団のための建築空間を設計する基礎的手法を学ぶことを目的とする。そのため、家族や仲間等の集団生活、あるいは不特定多数の群集の利用のための建築空間を、RC造や膜構造等によって設計する演習を行う。	家族や集団のための建築の設計への理解を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力をより向上させる。 本科目が対応する建築学科・大学院建築学専攻修士課程(6年)、および建築学科(4年)の学習・教育到達目標(◎は特に対応する到達目標、○は対応する到達目標) ◎D-1(6年)「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に具体的、実践的に実現する能力を修得する。(4年)「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に具体的に実現する基礎的能力を培う。 ○A-1, A-2, A-3, A-4, B-1, B-2, C, D-2	PBL(Problem-based learning: 問題解決型学習)。教員の説明、スタジオでの一対一の対話型演習、中間講評や講評会における発表や教員の講評を総合し、学生各自でそれらの意見・評価を解釈し選択して、具体的な作品へまとめあげる。なお第3課題は、海外からの短期留学生と合同で授業を行う予定であり、課題の説明資料等に英語の解説を付記する。	第二課題「リゾートホテル」、第三課題「駅」の講評会

13 建築

FD推進委員会が推奨する授業公開科目一覧

	科目名	授業形態	開講クラス	担当者名	曜時	参観が望ましい日程	受講者	教室	科目目的	到達目標	授業方法	特記事項
14 建築	建築設計演習 V	演習	大築4年	宇野朋子 田中明 天畠秀秋	月3・4 木3・4 金3・4	6月17、20日 7月29、30日	55名	AS-113	福祉、医療、都市といったより複雑な諸条件を考慮しつつ、後期の卒業研究(卒業設計)、さらに大学院における高度な設計課題や実務実習を行う上で必要な建築・都市空間の計画、設計の手法を学ぶことを目的とする。そのため、福祉、医療のための建築空間の設計、および都市の計画、設計の演習を行う。	より複雑な諸条件が要求される建築、都市の設計への理解を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を習得する。 本科目が対応する建築学科・大学院建築学専攻修士課程(6年)、および建築学科(4年)の学習・教育到達目標(◎は特に対応する到達目標、○は対応する到達目標) ◎ D-1(6年)「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に具体的、実践的に実現する能力を修得する。(4年)「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に具体的に実現する基礎的能力を培う。 ○ A-1, A-2, A-3, A-4, B-1, B-2, C, D-2	PBL(Problem-based learning: 問題解決型学習)。教員の説明、スタジオでの一对一の対話型演習、中間講評や講評会における発表や教員の講評を組み合わせる。なお第3課題は、海外からの短期留学生と合同で授業を行う予定であり、課題の説明資料等に英語の解説を付記する。	第二課題「病院」、第三課題「水辺の楽園」の講評会
15 音楽	楽器・合奏指導法	演習	大応4年	松本佳久子 竹原直美	水1	7月27日 公開期間外ですが、参観可能です。	8名	PS-213	音楽療法を実践する上で大切なのは、クライアントの多様なニーズや状況に応じた音楽を用いることにより、コミュニケーションできる能力である。クライアントとラポールを形成するための選曲や効果的なアレンジやアンサンブルなど、音楽療法に役立つ技術を習得する。	臨床の場を想定したアンサンブルを通して、クライアントの多様なニーズや状況に応じて音楽を効果的にアレンジし、コミュニケーションできる能力を習得する。	グループ別学習など能動的な活動を導入した授業展開を行う。	作品発表の回を公開
16 薬学	医薬品の開発 I	講義	新薬4年AB・CD	岡村 昇	月1・2	いつでも可	224名	1限 P5-342 2限 P5-341	薬剤師として医薬品開発と生産に参画できるようになるために、医薬品開発の各プロセスについて基本的知識を習得する。	1) 医薬品開発の計画、探索、非臨床試験、臨床試験、承認申請、市販後調査などについて、実施概要、関連法規を説明できる。 2) 代表的な薬害について原因、対策について説明できる。 3) バイオ医薬品やゲノム情報を利用した創薬について説明できる。	講義型授業	
17 看護	アクティブエイジング	講義	大護2AB	徳重あつ子 横島啓子	金3	特になし	86名	N-204	この科目では、高齢者が疾患や障害を持ちながらも活動的な生活を送ることを支援するための看護について考える力を養うことを目的とする。	1. 高齢者の健康の維持・増進のための看護について考えることができる。 2. 高齢者の活動的な生活を支援するための具体的な方法について説明ができる。	講義型授業	

FD推進委員会が推奨する授業公開科目一覧

18
共通

科目名	授業形態	開講クラス	担当者名	曜時	参観が望ましい日程	受講者	教室	科目目的	到達目標	授業方法	特記事項
American Society in Movies	演習	大短共通	アニータ・エイデン	水5	特になし	20名	C-802	Movies are a combination of language learning and storytelling. Students can hear natural expressions and vocabulary that are connected to specific themes in movies, such as family values, childcare, education and relationships. Societal values can be observed through movies, and students will add to their knowledge of American society in this class.	Within a movie, there are specific social behaviors and language patterns that can be identified as cultural norms. Students will practice identifying and describing common issues as they watch movie clips about American society. The goal of this course is to increase students’ awareness of the values being reflected in the decision-making of the characters in the film, as well as, gain language skills to describe their understanding of these common issues.	Students can enjoy learning both societal values and language skills together as they discuss the meaning of each character’s circumstances in each movie. Classroom methods include listening practice, role plays about characters, learning many new words and expressions through movie dialogues, as well as predicting future outcomes. Identifying visual and audio learning strategies are a key part of using movies as an educational tool.	
モラルジレンマから考える私	講義	大短共通	寺井朋子	木3	特になし	23名	C-604	日常生活には様々なモラルジレンマがあり、これらは正解がはっきりしないことも多い。社会の中で生活するためには、自分の意見を明確にするとともに、他者との議論を通じて、自分の意見を見つめ直すことも必要となる。本授業ではこのジレンマ過程を実際に経験しながら、自分と異なる意見にも耳を傾ける態度を養い、自分自身について見つめ直すことを目的としている。	①自分と異なる意見や考え方に対して、理解しようと努力できる ②自分の意見を論理的に他者に伝えることができる ③他者のディベートを聞いた後、それぞれの主張を要約できる ④他者の意見と自分の意見の違いなどをふまえて、自己分析ができる	演習形式で授業を行います。「ディベート準備」と「全体ディベート会」を3回繰り返します。	

19
共通